

車載型建築限界支障判定装置

画像・IT研究室

- ◆ 線路沿線にある膨大な数の設備の建築限界支障判定を車上判定できます。
- ◆ 軌道検測車に搭載して測定でき、線区により手検測を最大9割削減できます。

概要 建築限界支障判定の省力化のため、沿線設備を連続的に測定できる建築限界支障判定装置を開発しました。車種を問わず設置ができ、時速80km程度の車両走行で検査ができるため、実用的な検査速度を低コストで実現できます。

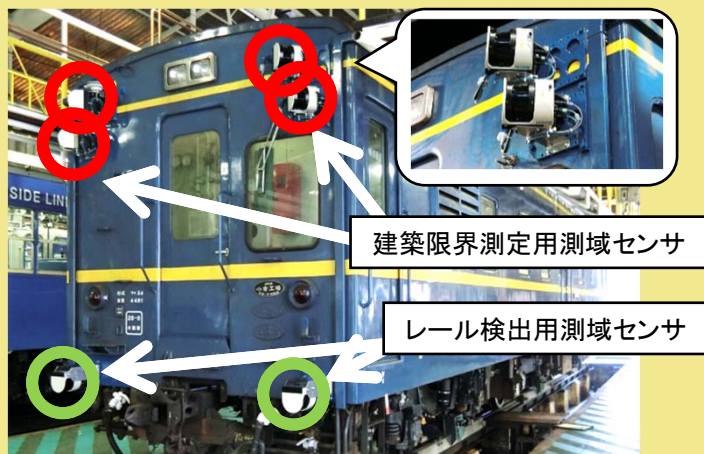


図1 建築限界支障判定装置の設置例

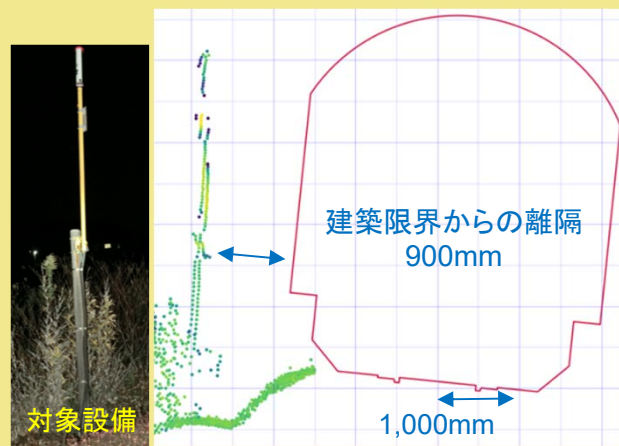


図2 建築限界からの離隔測定

転てつロックモニタ

信号システム研究室

- ◆ 電気転てつ機の鎖錠かん変位を測定し、管理や調整の支援を行います。
- ◆ 新幹線用電気転てつ機のロックモニタとして実用化しています。

概要 電気転てつ機の鎖錠かんの変位を測定することで、ロックピースと鎖錠かん切り欠けの相対位置(ロック狂い量)を測定、蓄積する状態監視システムです。記録機能のほか、調整作業の支援機能、気象予測に基づく予測機能を開発しました。

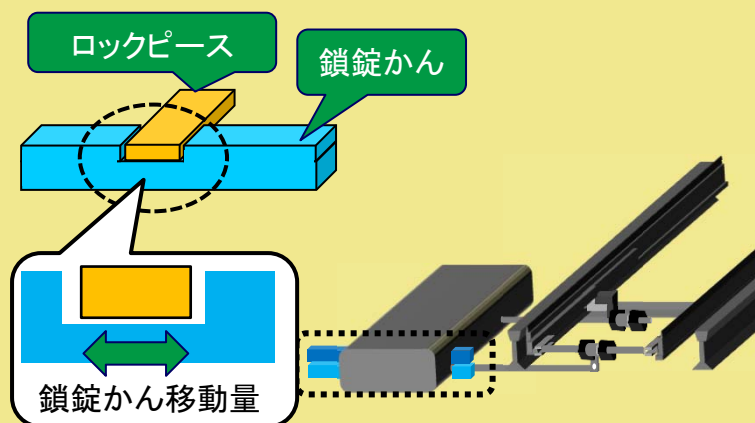


図1 電気転てつ機と鎖錠かん, ロックピース

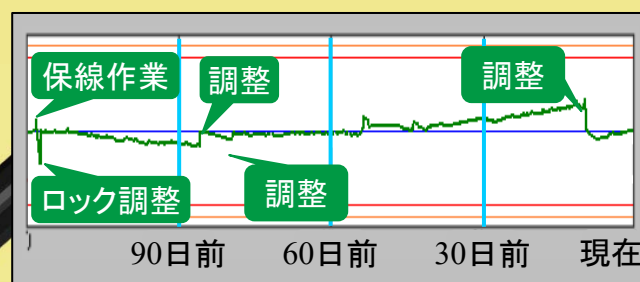


図2 ロックモニタを用いた調整時期の適正化